

# アセアン社債ファンド (毎月決算型)

追加型投信／海外／債券



作成対象期間：2014年8月18日～2021年12月9日

第 83 期決算日：2021年7月15日 第 86 期決算日：2021年10月15日

第 84 期決算日：2021年8月16日 第 87 期決算日：2021年11月15日

第 85 期決算日：2021年9月15日 第 88 期信託終了日：2021年12月9日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、アセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての社債等に投資を行うとともに、実質組入米ドル建て資産に対して米ドル売り対象通貨買いの外国為替予約取引または直物為替先渡取引等を行うことで、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざす運用を行ってまいりました。ここに運用経過をご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

第88期末 (2021年12月9日)	
償還価額	10,987.74円
純資産総額	493百万円
第1期～第88期	
騰落率	+35.0%
分配金合計(*)	2,100円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・  
ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

【ファンド関連情報】  
を選択

【償還ファンド一覧】  
を選択

当ファンドのファンド名称の  
右欄の運用報告書（全体版）  
を選択

**MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

### ■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル 0120-151034

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

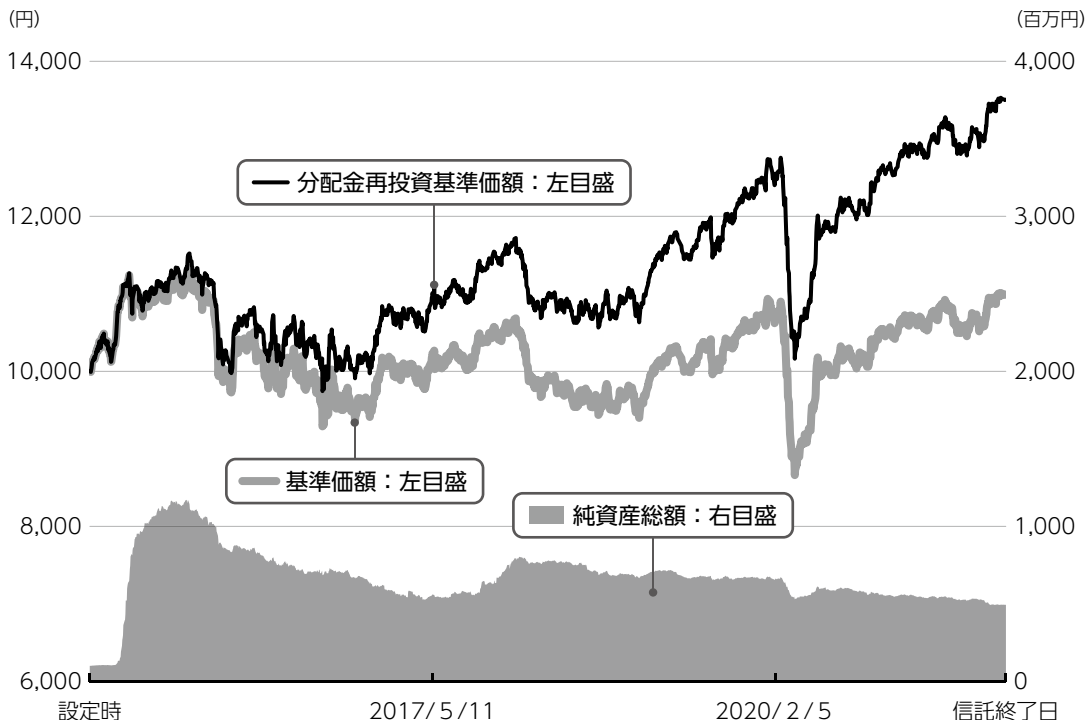
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第1期～第88期：2014年8月18日～2021年12月9日

## 設定来の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第1期首	10,000円
------	---------

第88期末	10,987.74円
-------	------------

既払分配金	2,100円
-------	--------

騰落率	35.0%
-----	-------

（分配金再投資ベース）

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

償還価額は設定時に比べ35.0%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

**基準価額の主な変動要因****上昇要因**

債券利子収入を享受したことや、対象通貨のうちシンガポールドル・タイバーツが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

**下落要因**

一部保有銘柄において信用力が悪化し債券価格が下落したことや、対象通貨のうちインドネシアルピア・マレーシアリングット・フィリピンペソが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

2021年6月16日～2021年12月9日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第83期～第88期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	88	0.822	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(43)	(0.400)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(43)	(0.400)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.021)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.017	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.013)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	90	0.839	

作成期中の平均基準価額は、10,746円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

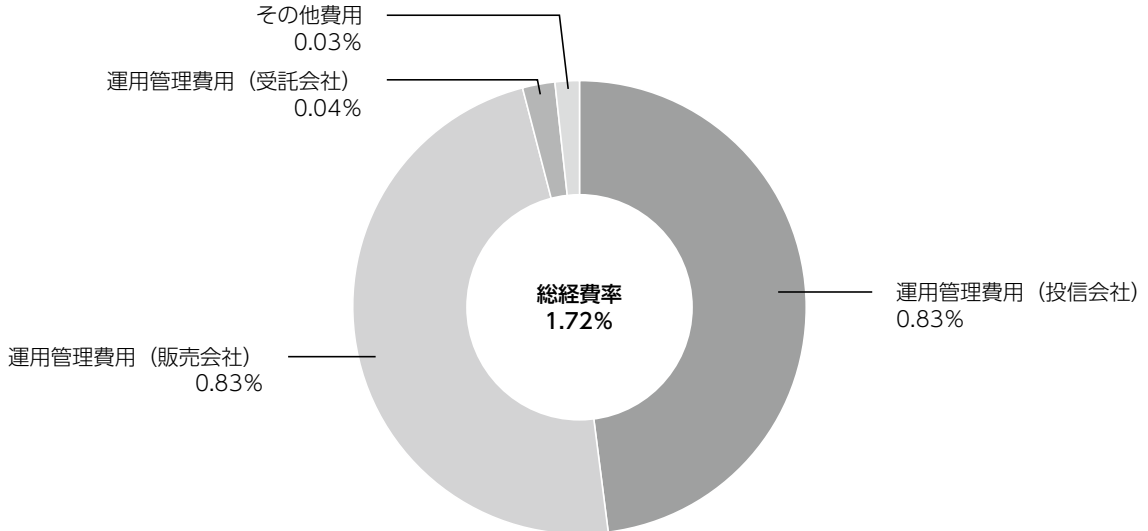
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## （参考情報）

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.72%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2016年12月9日～2021年12月9日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2016年12月9日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2016/11/15 期初	2017/11/15 決算日	2018/11/15 決算日	2019/11/15 決算日	2020/11/16 決算日	2021/11/15 決算日	2021/12/9 信託終了日
基準価額 (円)	9,486	10,461	9,676	10,557	10,364	10,977	10,987.74
期間分配金合計 (税込み) (円)	-	300	300	300	300	275	-
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	13.6	-4.6	12.4	1.1	8.7	-
純資産総額 (百万円)	628	667	691	668	571	496	493

※ファンド年間騰落率は、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※信託終了日の騰落率および期間分配金合計については、直近決算から信託終了日までの期間が1年に達していないため表示していません。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## 投資環境について

### ▶ 社債市況

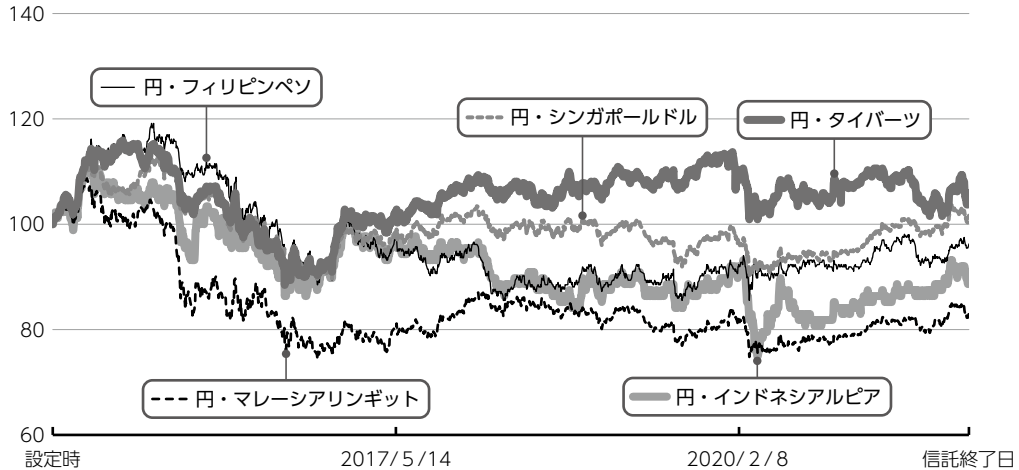
**設定時に比べアセアン投資適格社債市況、アセアンハイイールド社債市況は、債券利子収入を享受したことに加え、米国長期金利が低下し、社債の спреッド（国債との利回り差）も縮小したことなどから上昇しました。**

米国長期金利は設定時から2016年半ばにかけて、新興国経済への懸念などから低下基調で推移しました。その後、米国でトランプ政権が誕生し、財政拡張期待から米国長期金利は上昇、2018年半ばにかけては金融緩和縮小の見方などから一段と上昇しました。しかし、米中貿易摩擦や、2020年前半に新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念などから投資家のリスク回避姿勢が高まったこと、各国の中央銀行が新型コロナウイルス対応のため金融緩和政策をとったことなどから、2020年半ばにかけて米国長期金利は低下しました。2020年後半以降は、バイデン政権が誕生し財政政策への期待が高まったことや、米国の金融正常化観測などから米国長期金利は上昇しました。その後、2021年半ば以降は概ねレンジ圏で推移し、設定時と比べると米国長期金利は低下して終わりました。

社債の спреッドは設定時から2019年にかけて、世界経済に対する先行き不透明

感などから一時拡大した局面はあったものの、概ね縮小基調で推移しました。その後、2020年前半に新型コロナウイルスの感染拡大に対する懸念などから投資家のリスク回避姿勢が高まったことから、 спреッドは急拡大しました。各国の中央銀行が金融緩和政策をとる中、2020年半ば以降は спреッドは縮小基調で推移し、設定時と比較すると、 спреッドは縮小して終わりました。

## 為替市況の推移（設定時を100として指数化、対円）



### ▶ 為替市況

**設定時に比べ、アセアン各国通貨は対円でまちまちな動きとなりました。**

設定時と比較すると、インドネシアルピア・マレーシアリングgit・フィリピンペソが対円で下落し、シンガポールドル・タイバーツが対円で上昇して終わりました。



## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ アセアン社債ファンド（毎月決算型）

信託期間を通じて、アセアン投資適格社債マザーファンドおよびアセアン・ハイイールド社債マザーファンドにそれぞれ純資産総額の50%程度の投資を維持しました。債券の実質組入比率は、設定時より高位組み入れを維持しました。また、実質組入米ドル建て資産に対して、米ドル売り対象通貨買いの外国為替予約取引または直物為替先渡取引（NDF）等を行い、各対象通貨の配分は概ね均等を維持しました。

最終作成期（2021年6月16日～信託終了日）は、前記の運用を維持し、繰上償還に向け2021年11月中旬に各対象通貨のポジションを解消、2021年12月8日にマザーファンドの売却を行いました。

### ▶ アセアン投資適格社債マザーファンド

信託期間を通じて、アセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての投資適格社債等を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行ってまいりました。

#### 組入比率

設定時から債券現物の高位組み入れを維持しました。

第15期（2021年6月16日～信託終了日）は、前記の運用を維持し、繰上償還

に向け2021年11月12日に保有資産の売却を開始し、安定運用に切り替えました。

### ▶ アセアン・ハイイールド社債マザーファンド

信託期間を通じて、アセアン諸国の企業が発行する米ドル建てのハイイールド社債等を主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行ってまいりました。

#### 組入比率

設定時から債券現物の高位組み入れを維持しました。

第15期（2021年6月16日～信託終了日）は、前記の運用を維持し、繰上償還に向け2021年11月10日に保有資産の売却を開始し、安定運用に切り替えました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、第3期から第86期までは各25円の分配とし、その他の期につきましては見送りとさせていただきます。なお、信託約款の規定に従い第2期までの収益分配は行っていません。信託期間中、累計で2,100円の分配を行わせていただきました。

## 分配原資の内訳

(単位：円、1万円当たり、税込み)

項目	第83期 2021年6月16日～ 2021年7月15日	第84期 2021年7月16日～ 2021年8月16日	第85期 2021年8月17日～ 2021年9月15日	第86期 2021年9月16日～ 2021年10月15日	第87期 2021年10月16日～ 2021年11月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	25 (0.236%)	25 (0.238%)	25 (0.234%)	25 (0.230%)	－ (－%)
当期の収益	23	25	25	25	－
当期の収益以外	1	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	1,389	1,390	1,400	1,411	1,447

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 償還価額

### アセアン社債ファンド（毎月決算型）

償還価額は、10,987円74銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

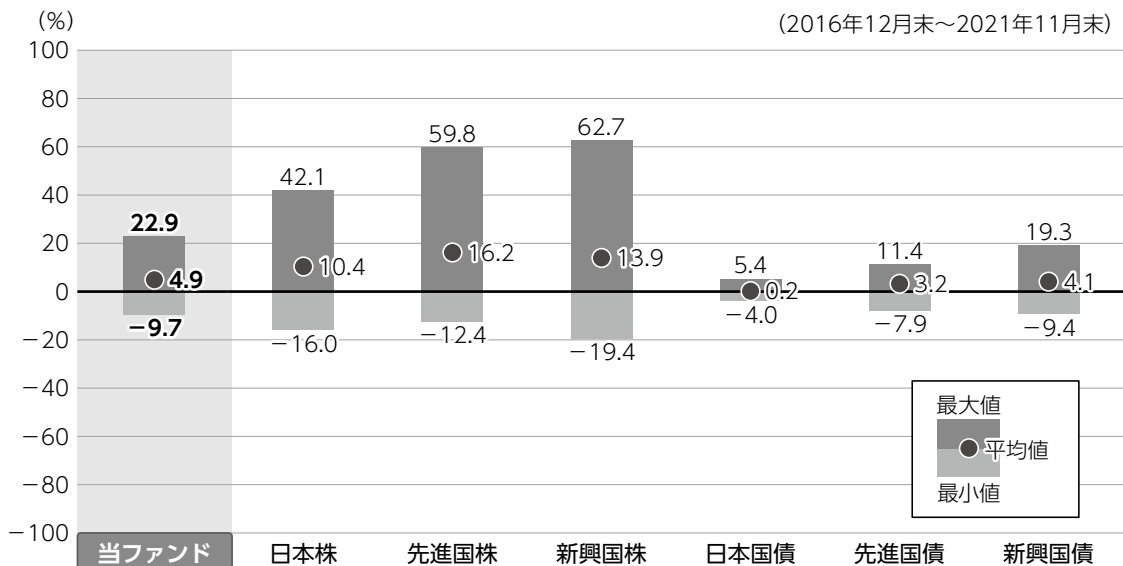
## ▶ その他

- ・受益権の口数が投資信託約款に定められた口数を下回っており、投資信託契約を解約することが受益者にとって有利であると認められるため、信託約款の規定に基づき、信託を終了しました。（2021年12月9日）

# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2021年12月9日〔当初、2024年6月14日〕まで（2014年8月18日設定）
運用方針	<p>アセアン投資適格社債マザーファンド受益証券およびアセアン・ハイイールド社債マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてアセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての社債等に投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。なお、各マザーファンド受益証券への投資割合は、それぞれ純資産総額の50%程度となるように調整します。</p> <p>マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。デュレーション調整等のため、先物取引等を利用し債券の実質投資比率が100%を超える場合があります。</p> <p>アセアン通貨の中で複数の通貨（以下「対象通貨」といいます。）に分散投資を行い、各対象通貨の配分は概ね均等とすることを基本とします。なお、アセアン諸国の投資環境等に応じて、対象通貨の見直しまたは通貨の配分を変更することがあります。運用にあたっては、実質組入米ドル建て資産に対して、原則として米ドル売り対象通貨買いの外国為替予約取引または直物為替先渡取引等を行います。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。（このため、基準価額はすべての対象通貨の対円での為替変動の影響を受けます。）</p>
主要投資対象	<p>■当ファンド アセアン投資適格社債マザーファンド受益証券およびアセアン・ハイイールド社債マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。</p> <p>■アセアン投資適格社債マザーファンド アセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての投資適格社債等を主要投資対象とします。</p> <p>■アセアン・ハイイールド社債マザーファンド アセアン諸国の企業が発行する米ドル建てのハイイールド社債等を主要投資対象とします。</p>
運用方法	アセアン諸国の企業が発行する米ドル建ての社債等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2016年12月から2021年11月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

## 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
日本国債	NOMURA-BPI（国債）
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本）
新興国債	JPMorgan Global Diversifaid

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2021年12月9日現在

## 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

・ 信託終了日現在、有価証券の組み入れはありません。

### 純資産等

項目		第83期末 2021年7月15日	第84期末 2021年8月16日	第85期末 2021年9月15日	第86期末 2021年10月15日	第87期末 2021年11月15日	信託終了日 (第88期末) 2021年12月9日
純資産総額	(円)	528,828,189	520,219,600	529,816,534	508,890,386	496,105,208	493,547,653
受益権口数	(口)	499,542,318	496,776,597	497,046,568	469,485,274	451,957,809	449,180,230
1万口当たり基準価額	(円)	10,586	10,472	10,659	10,839	10,977	10,987.74

※ 当作成期間中（第83期～第88期）において追加設定元本は3,872,008円  
同解約元本は56,699,493円です。

### 種別構成等

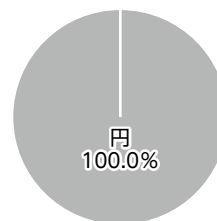
#### 資産別配分



#### 国・地域別配分



#### 通貨別配分



※ 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類していません。

※ 国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先として他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

# 指数に関して

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

### ●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信